

DD-500 機能追加 (Ver.2.00)

フレーズ・ループ (P.9) の追加機能

フレーズ・ループのクリア方法が追加されました。






再生停止状態のとき、[TAP/CTL]スイッチを2回押します。2回目を長押しすると、フレーズ・ループを終了せずにフレーズが消去されます ([B] スイッチ+ [TAP/CTL] スイッチと同様)。

▼ / ▲ ボタンで、フレーズの音量 (LOOP LEVEL) を調節することができます。

PATCH 追加パラメーター

以下のパッチ・パラメーターが追加、変更になりました。

各モード共通のパラメーター

パラメーター	説明		
FEEDBACK DAMP (*1)	フィードバック時の音量の変化を調節します。		
MOD MODE	SINGLE	単相のモジュレーションがかかります。	
	BI-PHASE	2相のモジュレーションがかかります。ステレオ出力時に広がり得られます。	
INPUT LEVEL	ディレイへの入力レベルを調節します。		
EQ SW	OFF	EQがかかりません。	
	PRE	ディレイの前にEQがかかります。	
	FEEDBACK LOOP (*2)	フィードバック・ループ内にEQを挿入します。クセのあるディレイ音をつくり出すことができます。	
	POST	ディレイの後にEQをかけます。	
EQ HI.CUT	16.0kHz が追加になりました。		
HI DAMP F	16.0kHz が追加になりました。		
TEMPO HOLD	パッチを切り替えたとき、テンポ(BPM)を変えるか、維持するかを設定します。テンポを維持することによりディレイ・タイムも維持することができます。ただし、切り替えたパッチのNOTEの設定(♪や♪など)が異なる場合はディレイ・タイムも変わります。パッチごと設定を変えることができます。		
FB LOOP SW (*3)	フィードバック・ループ機能をオン、オフします。		
INPUT MODE	A/B	INPUT 端子 A、B それぞれを完全独立して処理し、OUTPUT 端子 A、B へ出力します。	
	MIX	INPUT 端子 A、B から入力された信号をミックスして処理します。	
OUTPUT GAIN	出力レベルを調節します。		

*1: MODE が [DUAL] [VINT. DIGITAL] [TAPE] [ANALOG] [TERA ECHO] のときを除く

*2: MODE が [TERA ECHO] のときを除く

DD-500機能追加 (Ver.2.00)

*3:SYSTEM:FEEDBACK LOOP がオンに設定され、SYSTEM:FSW MODE が A/B SIMUL のとき以外、表示

モード別のパラメーター

MODE : SLOW ATTACK

パラメーター	説明	
TARGET	EFFECT	ディレイ音にのみスロー・アタック効果が得られます。
	ALL	ダイレクト音、ディレイ音共にスロー・アタック効果が得られます。
CURVE	スロー・アタック効果のエンベロープを調節します。値が大きいと立ち上がりが遅く、小さくすると速くなります。	

MODE : FILTER

パラメーター	説明			
TYPE	AUTO	フィルターが周期的に変化します。		
	TOUCH	入力信号の音量に応じてフィルターが変化します。		
		POLARITY	DOWN	フィルターが低い周波数方向に動きます。
			UP	フィルターが高い周波数方向に動きます。
		SENS	POLARITY の設定によってフィルターが変化するときの感度を設定します。値を大きくするほど反応が強くなり、 [0] にするとピッキングによるワウ効果はなくなります。	
		PEAK	基準周波数付近のワウ効果のかかり具合を調節します。	
		FREQ	ワウ効果の基準周波数を調節します。	
DECAY	フィルターの動く周期を調節します。			
FILTER TYPE	フィルターの種類 (LPF / BPF / HPF) を選びます。[TYPE] から名称を変更しました。			

MODE : SHIMMER

パラメーター		説明		
TYPE	PITCH	ディレイのピッチ・シフト量を自在に設定できます。		
		MONO	入力をモノ・ミックスして処理します。	
		STEREO	INPUT A/B	それぞれ別々にピッチ・シフト効果をかけます。モノ入力時は入力に対して2つのピッチ・シフト量を設定できます。
			PITCH2 SHIFT	ピッチ・シフト量(音の高さが変化する量)を、半音単位で調節します。
		PITCH2 FINE	音程の変化量を微調節します。FINEの変化量100がPITCH SHIFTの変化量1に相当します。	
		PS FEEDBACK	ピッチ・シフトのフィードバック量を調節します。	
	PS2 FEEDBACK	ピッチ・シフトのフィードバック量を調節します。		
	RISE TIME	値を大きくすると、ピッチ・シフトされた音がゆっくりと立ち上がります。		
	OVERTONE	オクターブ上下の音を加えることができます。PITCHよりも柔らかな音色で、和音への追従が優れています。		
		UPPER	オクターブ上の、倍音の音量を調節します。	
LOWER		オクターブ下の、倍音の音量を調節します。		
DIRECT		ダイレクト音の音量を調節します。		

MODE : SFX

パラメーター		説明	
TYPE	TREMLO	エフェクト音にトレモロ効果がかかります。	
		WAVEFORM	TR WAVE から名称変更。
		RATE	TR RATE から名称変更。
		DEPTH	TR DEPTH から名称変更。
	PHASER	エフェクト音にフェイズ効果がかかります。	
		RATE	回転の速さを調節します。
		DEPTH	回転効果の深さを調節します。
		RESONANCE	レゾナンス量(フィードバック量)を調節します。
MANUAL	回転効果のかかる中心周波数を調節します。		
POSITION	TR POS から名称変更。		

DD-500機能追加 (Ver.2.00)

MODE : PATTERN

パラメーター		説明	
TYPE	DELAY	従来の PATTERN と同じ。 ディレイにプログラムされたゲートをかけます。	
	GATE	PATTERN	音を刻むスライス・パターンを選びます。
		STEP NUMBER (*)	何ステップのパターンとして再生するか選びます。 たとえば、【8】に設定すると、1小節を均等に8分割して再生します。
		STEP 1-24 LENGTH (*)	各ステップの長さを調節します。 0: 音は鳴りません。 1 ~ 99: 長さに応じて音が鳴ります。 100: 次のステップとつながります。
		STEP 1-24 LEVEL (*)	各ステップの効果を調節します。

* PATTERN が 【USER】 のときに表示されます。

MODE : DUAL

パラメーター		説明
DUAL MODE		2つのディレイの配列方法を選びます。
	SERIES	
	PARALLEL	
	A/B	
	A/B SERIS	
	A/B PARA	
D1 TYPE、D2 TYPE	2つのディレイの種類を個別に選びます。	

MODE : VINT. DIGITAL

パラメーター		説明
DELAY PHASE	ディレイ音の位相を設定します。INV を選ぶと位相が反転します。	
FEEDBACK PHASE	ディレイ音のフィードバックの位相を設定します。INV を選ぶと位相が反転します。	

MODE : TAPE

パラメーター		説明	
TYPE	RE-201	Roland の RE-201 をモデリングしています。	
		TAPE HEAD	使用する再生ヘッドを選択します。再生ヘッド 2 / 3 は再生ヘッド 1 の 2 倍 / 3 倍のディレイタイムになります。
	EchoR	Binson EchoRec2 をモデリングしています。	
		DISK HEAD	再生ヘッドの組み合わせを選びます。
	SELECTOR	ディレイの動作モードを選びます。選択したモードによっては、FEEDBACK つまみが効かなくなります。	

BANK

サイマル・モード時の、パッチ A と B の接続や出力の方法を設定します。

※ BANK は SYSTEM パラメーターの FSW MODE が A/B SIMUL 時のみ表示されます。

サイマル・モードの設定をする (BANK)

サイマル・モード時の、パッチ A と B の接続や出力の方法を設定します。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「BANK」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[TIME/VALUE] つまみで値を変えます。

パラメーター	設定値	説明
CONNECTION		パッチ A と B の接続方法を設定します。
	SERIES	パッチ A と B を直列に接続します。A → B の順に接続します。
	PARALLEL	パッチ A と B を並列に接続します。
OUTPUT MODE (*1)		OUTPUT A/MONO、B 端子からの出力方法を設定します。
	MIX	パッチ A と B をミックスして出力します。
	A/B	INPUT A/MONO 端子に入力した音は、パッチ A を通して OUTPUT A/MONO 端子に出力します。 INPUT B 端子に入力した音は、パッチ B を通して OUTPUT B 端子に出力します。
D.LEVEL ADJUST	50% ~ 200%	パッチ A と B が両方オンのときのダイレクト音の音量を調節します。
SYNC (*2)	OFF、ON	B のパッチのデレイ・タイムが、A のパッチのデレイ・タイムに同期する (ON) かしない (OFF) かを選びます。 NOTE はパッチごとに調節できます。
FB LOOP SEL (*3)	OFF、ON	どちらのパッチでフィードバック・ループ機能を使うかを設定します。

*1 : CONNECTION が [PARALLEL] のときに表示されます。

*2 : RATE と BPM が無いモードのときは無効になります。

*3 : FEEDBACK LOOP が ON、FSW MODE が A/B SIMUL のときのみ表示されます。

CONTROL 追加パラメーター

パラメーター	説明			
TAP/CTL	HOLD	MODE	MOMENT	通常はオフ（最小値）になり、押している間だけオン（最大値）になります。
			TOGGLE	押すたびにオフ（最小値）とオン（最大値）が切り替わります。
		LEVEL	レベルが設定できます。	
	WARP	MODE	MOMENT	通常はオフ（最小値）になり、押している間だけオン（最大値）になります。
			TOGGLE	押すたびにオフ（最小値）とオン（最大値）が切り替わります。
		LEVEL	レベルが設定できます。	
	TWIST	MODE	MOMENT	通常はオフ（最小値）になり、押している間だけオン（最大値）になります。
			TOGGLE	押すたびにオフ（最小値）とオン（最大値）が切り替わります。
		LEVEL	レベルが設定できます。	
		RISE TIME	ツイスト効果の上昇時間を設定します。	
		FALL TIME	ツイスト効果の下降時間を設定します。	
	ROLL 1/2、 1/4、 1/8	MODE	MOMENT	通常はオフ（最小値）になり、押している間だけオン（最大値）になります。
TOGGLE			押すたびにオフ（最小値）とオン（最大値）が切り替わります。	
FADE	エフェクト音をフェード・イン/アウトさせます。			

SYSTEM 追加パラメーター

パラメーター	説明
FEEDBACK LOOP	OUTPUT A 端子と INPUT 端子 B の間に外部エフェクトを接続することができます。ディレイのフィードバック・ループ経路に外部エフェクトを挟むことができます。ギターを INPUT A 端子に接続、アンプを OUTPUT B 端子に接続します。 * ON にすると、SYSTEM: BYPASS の設定が BUFFERED に固定されます (BYPASS の設定は表示されません)。
LOOP LEVEL	録音したフレーズの音量を設定します。

MIDI 追加パラメーター

パラメーター	説明
TIME CC	ディレイ・タイムを設定します。
EFFECT SW	EFFECT ON/OFF CC から名称変更。
EFFECT A SW	A SW CC から名称変更。
EFFECT B SW	B SW CC から名称変更。

DD-500機能追加 (Ver.2.00)

MIDI BULK DUMP 追加パラメーター

パラメーター	設定値	説明
FROM TO	SYSTEM	システム・パラメーターの設定
	01A ~ 99C	パッチの設定
	BANK01 ~ 99	バンクの設定 (パッチ A ~ C、BANK パラメーター)
	TEMP	現在のパネル上のディレイ設定

FACTORY RESET 追加パラメーター

パラメーター	設定値	説明
FROM TO	SYSTEM	システム・パラメーターの設定
	01A ~ 99C	パッチの設定
	BANK01 ~ 99	バンクの設定 (パッチ A ~ C、BANK パラメーター)